

2020年度(令和2年度)
学校関係者評価報告書

2022年(令和4年)3月30日

学校法人 中村学園
国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

1. 学校関係者評価

(1) 目的

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

(2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

(3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

(4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

(5) 評価期間

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

(6) 評価結果

- ①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。
- ②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員会

(1) 日 時：2022年3月28日（月） 13:00～15:00

(2) 場 所：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校（学校法人中村学園）8号館トラベルサロンよりZOOMにて実施

(3) 参加者：学校関係者評価委員（及び学校事務局）

学校関係者評価委員会の構成

学校関係者評価委員 3名

（順不同 敬称略）

氏名	所属
横山 隆	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマーレ 総支配人
小亀 さおり	地域
岩崎 正佳	両総観光株式会社 営業課課長

欠席の委員3名には後日意見聴取を行う。

学校事務局 2名

氏名	所属
矢口 博士	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 校長・本部長
檜崎 さやか	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 広報学務室室長

(4) 内 容：・学校関係者評価の目的

- ・自己評価に対する学校関係者評価
- ・意見交換

3. 評価

(1) 評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

(2) 評価、意見、改善方策を記載する。

4. 評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目の達成と改善方策

(1) 教育理念・目標

評価項目		評価	意見・コメント
1	理念 目的 育成人材像	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	コロナ禍での実習運営について質問を頂戴した。
2		教育目標、育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズに向けて方向づけられているか	
3		学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	
4	特色ある教育活動	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	
5	将来構想	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	

項目評価（平均） **3.4**

【改善方策】

- ・産学連携の根幹をなす企業実習について今後もコロナの感染状況に応じて臨機応変に実習先・時期など対応できるように準備をしておく。
- ・学務・就職・教務など様々な面でデジタルツールを取り入れた運用を検討していく。

(2) 学校運営

評価項目		評価	意見・コメント
1	運営方針	目的等に沿った運営方針が策定されているか	特になし。
2	事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
3	運営組織	運営組織は文書等において明確化され有効に機能しているか	
4		意思決定プロセスは整備され機能しているか	
5		人事、給与に関する規定等は整備されているか	
6	コンプライアンス	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
7	情報公開	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
8	情報システム	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	

項目評価（平均） **3.6**

【改善方策】

- ・デジタル化を進めるべく、出欠管理システム導入に向けた検証を2021年度行う。

(3)教育活動

評価項目		評価	意見・コメント	
1	目標の設定	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	・授業改善アンケートなどに関して、内容によってどのように対応したのかを伝えていった方が良い。 ・オンライン研修も増えているため、アーカイブを利用した受講など検討できる。
2		教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	
3	教育方法評価等	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	
4		キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	
5		関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等が行われているか	3	
6		関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	
7		授業評価の実施・評価体制はあるか	3	
8		職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
9	成績評価単位認定等	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
10	免許資格取得の指導体制	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	
11	教員教員組織	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	
12		関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど取組が行われているか	3	
13		関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2	
14		職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

項目評価（平均） **3.0**

【改善方策】

- ・各種アンケート結果について、結果から導き出されたすべき項目の洗い出し、改善項目の報告（学生・講師）を行っていく。
- ・単位認定基準を明確化するための再評価基準の変更後の運用状況を確認し適切な見直しを行う。
- ・コロナ禍の副産物としてオンライン化が進んでいるため、時間を理由として受講できなかった研修を積極的に受講するよう啓蒙を勧める。

(4)学修成果

評価項目		評価	意見・コメント	
1	就職率	就職率の向上が図られているか	4	・資格啓蒙の手法について質問を頂戴した。 ・コロナ禍では他分野への就職もやむを得ない。学生は変化を恐れず、就職した企業で懸命に働き、業界の復活時には是非観光業界に戻ってキャリアアップする道もあると考えてもらいたい。
2	資格・免許の取得率	資格取得率の向上が図られているか	3	
3	卒業生 在校生の社会的評価	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	
4		卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	
5	評価目標	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	3	

項目評価（平均） **3.0**

【改善方策】

- ・コロナ禍において観光・ブライダル業界は大きく影響を受け、採用の取りやめなどの動きが顕著となった。今後も状況は不透明なため、多様な職種の求人情報を確保し、必要に応じて学生斡旋を行っていく。
- ・引き続き資格取得、検定受験の意欲を高めていけるよう学年に応じた働きかけを行う。

(5) 学生支援

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職等 進路	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	・中退率の低減に向けて尽力されている様子が見えるが、引き留めるにあたり学生へ譲歩しすぎず、学校の理念を大切に取組んでいただきたい。
2	中途退学 への対応	退学率の低減が図られているか	
3	学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	
4		留学生に対する相談体制を整備しているか	
5	学生生活	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
6		学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
7		課外活動に対する支援体制は行われているか	
8	保護者 との連携	保護者との連携体制を構築しているか	
9	卒業生 社会人	卒業生への支援体制はあるか	
10		社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
11	高校 との連携	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	

項目評価（平均） **3.3**

【改善方策】

- ・夜間部の複数学科の募集停止に伴い、経済的な理由で進学を諦めることがないように昼間部での学び継続のためサポート体制を広く周知していく。

(6) 教育環境

評価項目		評価	意見・コメント
1	施設 設備等	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	防犯・防災（人災・天災）の対策は、学校だけでなく各人がしっかりと意識を持ち準備しておくべき。
2		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	
3	学外実習 インターン シップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	
4	防災 安全管理	防災に対する体制を整備し、適切に運用しているか	
5		学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価（平均） **2.8**

【改善方策】

- ・ホール教室の音響設備・スクリーン、各教室のモニター設置など教育設備を刷新する。
- ・コロナ禍での安全管理についてのルールや連絡体制を改めて見直し、迅速に動けるよう体制を見直す。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目			評価	意見・コメント
1	学生募集活動	高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3	特になし。
2		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	4	
3		学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	
4	入学選考	入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	3	
5	学納金	経費内容に対応した妥当な学納金であるか	4	
6		入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いをおこなっているか	4	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・ステークホルダーである保護者・高校教員へ定期的に業界の現況を説明する場面を作り、業界不安払拭に努める。
- ・厳しい状況下ではあるが、改めて学校教職員一丸となって、教育の質向上と並行して、学校・学科の特色化に向け考える場を設ける。

(8) 財務

評価項目			評価	意見・コメント
1	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	特になし。
2	予算 収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	
3		予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	
4	監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	4	
5	財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	

項目評価（平均） **3.6**

【改善方策】

- ・コロナ感染拡大防止対策予算とコロナ感染拡大前の運営も想定した予算を策定。
- ・入学希望者減少を踏まえ、教育効果を維持した上で運営の効率化などを検討していく。

(9)法令等の遵守

評価項目		評価	意見・コメント
1	法令基準等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営行っているか	個人情報保護に関する項目が3ポイントとなっているが、ここについては早急に4とできるような対策を取るべき。
2	個人情報保護	学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか	
3	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか	
4		自己評価結果を公開しているか	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・個人情報保護について規定を作成し、学生・教職員（非常勤含む）に広く周知し対策を取っていく。
- ・評価（自己評価・学校関係者評価）について学内職員に外部研修を受講させる。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	意見・コメント
1	社会貢献 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	ボランティア活動として委員が代表を務めているビーチクリーン活動をご案内いただいた。
2		地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
3	ボランティア	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	

項目評価（平均） **3.0**

【改善方策】

- ・学生組織SAMを中心にご紹介いただいたビーチクリーンなどのボランティア活動を啓蒙していく。

(11)国際交流

評価項目		評価	意見・コメント
1	留学生 受け入れ	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	特になし。
2		留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
3	留学生 指導	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
4		学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	

項目評価（平均） **3.3**

【改善方策】

- ・今後留学生は減少傾向となるため、それを想定した戦略的な中長期計画を策定する。
- ・コロナの影響により海外から日本国内に入国できない状況が続いているため、早急に募集人数の確保に向けて日本語学校への訪問などを行う。
- ・外国人留学生の慣習を理解した上で、感染予防に努める。

7. 総評

コロナ禍で大きな打撃を受ける観光・ブライダル業界の学校であるが、学生数確保に努め、学校運営の見直しなどを行いコロナ以前と同様に運営できるよう務めている。学校評価で挙げられている項目に関しては、教職員はもとより各室より選出したメンバーによるPDCAサイクルが機能しており、少しずつではあるが学校運営の改善が図られている。今後は、各項目に対する学内の目標値（ゴール）を明確化し、改善項目に対しては中長期の計画を立て計画的に取り組むと良い。